学校番号	１００４

令和８年度　（学）生命科学

教科	(学)生命科学	科目	(学)カイロプラクティック	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

カイロプラクティックはアメリカで生まれた体調を整える技法です。関節・筋肉・神経系の働きを改善させることで、日常生活から来る障害や、スポーツから来る障害に対する処置を行います。体調を整えるとともに身体構造を学ぶこともできます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
日常生活からくる障害及び、スポーツ障害の予防と回復に役立つようなカイロプラクティックの基礎知識（基礎解剖学・基礎施術法）を身につける。
【思考力、判断力、表現力等】
具体的な症例に対してカイロプラクティックのどの技法が効果的なのかを思考し、判断する力を身につける。
【学びに向かう力、人間性等】
カイロプラクティックのはたらきをあらゆる視点で捉え、自ら意欲的に活用しようとする態度や身体構造を学ぶ姿勢を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・日常的な障害や、スポーツ障害の課題についての理解を深めるとともに、世界についての知識を身に付け、自分が世界に向けて何かを行うための技能を身に付けている。	・障害の状況を把握し、状況に応じて、適切な技法を用いる判断をすることができる。	・カイロプラクティックを通じて身体の構造について積極的に学ぶ態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	オリエンテーション	授業の進め方・用具の準備 カイロの歴史・全身区分	a:カイロプラクティックの基本を身につけ、簡単な障害への対処をすることができる。 b: 障害の状況を自らの知識で思考し、どの技法を用いるかを判断している。 c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	実技Ⅰ 操体法①	腰・肩・首ストレッチ	a: 身体構造の中心部の重要性を認識し対処を学ぶ b: 基礎施術法を実施し、体幹の反応に注目する c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	実技Ⅱ 各反復テスト	下腿の筋肉と骨・臓器の名称 頚椎・腰椎・胸椎反復テスト 上肢の筋肉と骨の名称	a:身体構造への理解を深める b:骨格と筋肉との関係を正しく説明できる c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
2学期	実技Ⅲ 肩こり	下肢の筋肉と骨の名称 フェイサースタンス	a:下半身の構造と運動との関係を理解する b:上半身からの負荷が与える影響を学び下半身の適応力を高める c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察

	実技Ⅳ 腰痛	腰椎伸展	a:体幹への施術によって障害の影響を軽減する b:負荷に対応できるよう予防的施術を行う c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
	実技Ⅴ AS腸骨	上前腸骨の調整	a:体幹への恒常的な負荷を理解し軽減できるよう施術を行う。 b:体幹への負荷を軽減するためのとるべき運動や生活上の工夫を伝えることができる c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察
3学期	実技Ⅵ PI腸骨	上後腸骨棘の調整	a: 体幹への恒常的な負荷を理解し軽減できるよう施術を行う。 b: 体幹への負荷を軽減するためのとるべき運動や生活上の工夫を伝えることができる c: 積極的に身体構造とカイロプラクティックの技法を身につけようとしている。	ワークシート	ワークシート レポート	ワークシート レポート 行動観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度